



特定非営利活動法人

おもしろ科学たんけん工房

2007年7月1日発行

たんけん通信 第20号

2007年5月31日(木)午後、男女共同参画センター横浜のセミナールームで、特定非営利活動法人おもしろ科学たんけん工房の第5期通常総会が開催されました。

総会には、委任状による出席を含め、52名の正会員が出席し2006年度の収支決算、並びに活動報告が承認され、また、理事、監事の任期満了に伴う、選任が行われ、11人の理事ならびに、2人の監事が選任されました。

第5期 通常総会開催

11人の理事と2人の監事が選任されました。

選任された理事並びに監事は以下の表のとおりで、内新任は石井正司理事と土屋昌信理事、その他の理事・監事は再任です。

理事リスト〔五十音順〕

	氏名	生年	住所	役職/所属
	相川 正光	1933	藤沢市	副代表理事
新任	石井 正司	1940	横浜市	横浜北
	石橋 輝夫	1938	茅ヶ崎市	横浜西
	岩瀬 宏一	1940	藤沢市	藤沢
	郷 勝哉	1930	藤沢市	藤沢
	柴田憲男	1938	藤沢市	アイテム検討主査 藤沢
	滝本昌彦	1939	横浜市	横浜北 代表
新任	土屋昌信	1943	横須賀市	横浜東 代表
	宮治資雄	1933	藤沢市	会計
	宮下盛汪	1941	横浜市	副代表理事 横浜西 代表
	安田光一	1933	横浜市	代表理事

監事リスト〔五十音順〕

	青柳好昭	1942	藤沢市	
	木村貞雄	1931	横浜市	

2006年度 決算と授業報告が承認されました。

事業の量も事業収入も大幅に伸張し、スタッフの人数も大幅に増加した年度でした。前年度決算と対比した 収支計算書を2ページに掲載しました。また、2002年のスタートから5年間のおもしろ科学体験塾への参加児童数の推移も、表とグラフで示しました。 ➡ 2ページをご覧ください。

おもしろ科学たんけん工房も出展するので、ぜひ見に来てね

科学体験活動推進スタッフ養成研修

第1期インストラクター研修がスタート

横浜市との協働事業として、今年度の第1期研修が始まりました。定員30名の募集にたいし25名の応募がありましたが、申し込み後のキャンセルもあり23名でスタートしました。

現場実習オリエンテーション: 6月17日(日)

アートフォーラムあざみ野で実施

実習は7初旬~10月末まで7会場で

集合研修: アートフォーラムあざみ野で実施

第1日 : 6月30日(土) 第2日: 8月4日(土) 第3日 : 9月1日(土)



写真:現場実習オリエンテーション風景
6月17日 アートフォーラムあざみ野
2階 セミナールームで

青少年のための

科学の祭典

神奈川大会

会場: 神奈川県立青少年センター

平成19年8月19日〔日〕

10:00~16:00

おもしろ実験ショー; 科学工作など

もりだくさん企画満載!

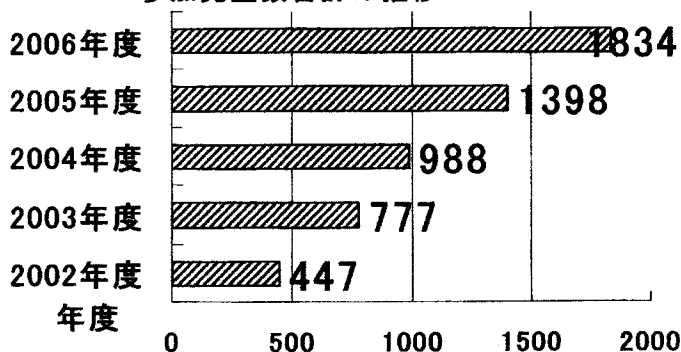
家族で、友だちと一緒に 科学体験してみませんか

前年度(2005)収支決算の概要 **対比** 2006年度 収支決算の概要

	科 目	金額(千円)	内訳金額		科 目	金額(千円)	内訳金額
収入	会費・入会金収入	631		収入	会費・入会金収入	756	
	正会員会費		342		正会員会費		432
	賛助会員サポート		289		賛助会員サポート		324
	事業収入	1,776			事業収入	2,144	
	科学塾参加費		1,561		科学塾参加費等		1,868
	育成事業参加費		215		育成事業参加費		276
	寄付金	404			寄付金	335	
	企業からの寄付		0		企業からの寄付		0
	個人寄付		404		個人寄付		335
	助成金・補助金収入	1,096			助成金・補助金収入	1,425	
	受取利息雑収入				雑収入	1	
	当期収入小計	3,907			当期収入小計	4,661	
	その他収入	1,621			その他収入	2,180	
	前期繰越金		1,621		前期繰越収支差額		2,180
	収入合計	5,528			収入合計	6,841	
支出	事業費支出	2,945		支出	事業費支出	3,749	
	1 科学塾		1,703		1 科学塾		2,254
	2 普及啓発事業		107		2 普及啓発活動		191
	3 ネットワーク		48		3 ネットワーク		222
	4 発掘養成事業		1,087		4 ボランティア発掘養成		1,082
	管理費支出	403			管理費支出	667	
	当期支出合計	3,348			当期支出合計	4,416	
当期収支差額		(559)		当期収支差額		(245)	
	次期繰越収支差額	2,180		次期繰越収支差額		2,425	
	支出合計	5,528		支出合計		6,841	

年度	合 計	おもしろ科学体験塾 会 場 別 参加児童数の推移						
		参加児童数	湘南台高校	フォーラム〔戸塚〕	鶴沼中学校	永野小学校	こども科学館	港南センタープラス あざみ野
2002年度	447	254	193	0	0	0	0	0
2003年度	777	243	269	265	0	0	0	0
2004年度	988	325	262	289	97	15	0	0
2005年度	1398	185	236	286	189	232	90	180
2006年度	1834	236	227	295	251	215	246	364
累計	5444	1243	1187	1135	537	462	336	544

参加児童数合計の推移



おもしろ科学体験塾に参加した児童数の会場別推移表〔上〕と、合計児童数の推移グラフ(左)

当初 2会場でスタートした「おもしろ科学体験塾」ですが、ごらんのとおり、7会場に拡がりました。子どもたちが自転車で行けるところに、あまねく科学体験塾を！という願いも決して単なる夢ではありません。それは、市民の力できっと実現できるし、また実現しなければならないと思います。

おもしろ科学たんけん工房 藤沢地区グループ便り

藤沢地区グループでは、北は湘南台高校(写真1)、南は鶴沼中学(写真2)のご好意で生物地学教室や理科室を提供して頂き、毎月各1回の割合で下記のような科学塾を開いています。

湘南台高校正門(写真1)



鶴沼中学正門(写真2)



その他藤沢市立中学校の理科関係部活動支援の一環として、毎年「中学生のための飛行機教室」を開催していて、今年も例年になく多い7校29名の参加申込があり、7月の学校対抗飛行機大会を目指し湘南台中の理科室を会場に5月27日盛況裡にスタートしました(写真3)。

指導スタッフは藤沢グループの飛行機野郎数人の他、今年から北グループの古村さんや、他に昨年の飛行機教室卒業生である二人の高校生が応援に来てくれています。



教室風景(写真3)

また他地区の行事には、森島さんが4月14日日本郷台の県立柏陽高で「紙ヒコーキ」の、安藤さんが5月19日洋光台の横浜こども科学館で「ホバークラフト」の主任を務めました。

藤沢地区トピックス

藤沢地区内科学塾では子供達が以下の様な経験や勉強をしました。4月14日相川さん主任の「レモンや炭を使った電池(鶴沼)」では作った電池で電子オルゴールを鳴らしたりモーターを回し、「意外なものが電池になる」不思議さを体験。

6月2日柴田さん主任の「紙コップ利用のヘッドホン製作(鶴沼)」では磁石と電気的作用を実験で勉強し、磁石と自分で巻いたコイルを紙コップに取り付けたヘッドホンで音楽を楽しみました。

安藤さん主任の「電池で動くホバークラフト」は4月28日湘南台が初回で、小学生には難しい「パスカルの原理」を一寸勉強し「作っている中にどんどんチラシ写真の形になり、テーブルの上を滑る様に走った」と大喜び。

畑尾さん主任の5月12日鶴沼の「ライトプレーン(鶴沼)」では「カッターナイフや接着剤の使い方」を習い、作ったゴム動力の飛行機は「びっくりするくらいよく飛んだ」とか。5月26日岩瀬さん主任の「太陽熱風ぐるま(湘南台)」では太陽と地球の関係や太陽のエネルギーを勉強し、作った風ぐるまが「太陽の光で回る」意外な発見をしました。

子供達の笑顔が私達のやりがいですー子供達と一緒に理科工作や自然観察をして理科に親しもうー

南区浦舟町 “みなみ市民活動センター”

「みなみ市民活動センター」は“社会のために役立つ市民活動”を行っているグループや、活動に関心のある人へのサポートを目的に、2005年5月に、南区役所地域振興課生涯学習支援センターの移転に伴い、機能拡大し、オープンしました。同じような機能を持つ「市民活動支援センター」は、市内に12ヶ所設置されています。」

「施設の広々とした館内は明るく、開放感にあふれています。自慢は、冬の晴れた日に見える富士山のパノラマです。掲示スペースがたくさんあって、いろいろな情報を入手することができます。地下鉄・京急・バスなど交通の便もよく、隣りに市民総合医療センター、近くに横浜橋商店街があります。」「みなみ市民活動センターは、施設点検のための休館日である第3月曜日以外は、平日の朝9時から夜9時まで、土日・祝日の朝9時から午後5時まで、無料で、利用できるようになっています。」

「現在、「みなみ市民活動センター」には100余りの団体が登録しており、①「国際交流・外国人支援」グループ ②「子育て支援」グループ ③「地域コミュニティづくり」グループ ④「IT情報・パソコン支援」グループおよび⑤「生涯学習支援」グループなどが活動しています。」

「たんけん工房」の皆さんは、非常に熱心に活動されており、「科学工作クラブ」も含めて、月に4~5回利用されることもあります。「科学工作クラブ」がセンター事務所においていかれる作品は、南区にお住まいで定年近くの理工系の仕事をしている方が、気軽に声をかけられる良いきっかけになっています。」

「市民活動のことなら、是非皆さんにご利用していただきたいというのが、センター職員一同の思いです。」

(記事：広神 勝彦)

栄区 “柏陽高校”

神奈川県立柏陽高等学校のご理解、ご協力により物理実験室を借用し「おもしろ科学体験塾 in 本郷台」を開催して2年になります。これまでに22回の体験塾を開催しました。

柏陽高校は、理数教育の先進校として高校の枠を超えた教育に取り組んでおり、同校で科学体験塾を開催できることは、工房および参加する小中学校の児童・生徒にとっても意義深いものであると感じます。今回は「SSH」について紹介します。

【SSH構想】：文部科学省は、高等学校および中高一貫教育校における理科・数学に重点を置いたカリキュラムの開発、大学や研究機関等との効果的な連携方策についての研究を推進し、科学技術系人材の育成に資するため、平成14年度から、科学技術、理科・数学教育を重点的に行う学校をSSHとして指定しました。初年度は全国77校の応募から、26校が指定(指定期間3年間)を受けました。神奈川県では柏陽高校が14年度から3年間、更に17年度に2年間の継続指定を受け、計5年間にわたって研究をしてきました。以後、毎年度20~31校が指定を受け、現在約100校が指定を受けて研究

「横浜東地区版 第2号」は3ヶ所の活動拠点を紹介します。

- 栄区本郷台のスーパー・サイエンス高校「柏陽高校」。
- 今年6月から科学塾を始めた磯子区「岡村小学校」。
- 南区浦舟町にある「みなみ市民活動センター」。

磯子区岡村 “岡村小学校”

磯子区の岡村小学校での「科学塾」が6月9日(土)から始まりました。07年度は5回の実施が予定されています。岡村小学校は勿論のこと近隣の10校にもチラシの配付などにご協力を戴き、1回目は38名もの応募がありました。岡村小のPTAの会合日に合わせて実施することとなりましたが、幸いにも6月は30日もPTAの会合があるため当初の予定日の9日に加えて30日(土)にも実施し初回は応募者全員を受け入れることとなりました。学校のご協力に感謝すると共にスタッフ業務の追加や担当日の変更などに快く応じてくださったメンバー各位のご協力の賜物とありがたく受けとめています。

1回目のテーマは東グループとしては初めての「ヘリコプター」で説明と実験担当が植木さん、工作指導担当が田島さんと「ダブル主任体制」での実施となりましたが、原稿締切日の関係で今回は9日実施分についてのご報告となります。

今回は多くのメンバーが関わることになったためリハーサルを2回実施して全員が何れかに参加するなど今まで以上に準備にエネルギーを割き、実施日のイメージを共有することに努めました。そのためもあってか参加者の反応は頗る良く、児童保護者ともアンケートの自由記載欄に全員が感想を書いてくれるなど満足度の高い科学塾となりました。「理科はみんなを楽しませる力があると感じた」(5年男子)といった嬉しい反応や「自分だったらすぐに手を出してしまいそうになりますが、子どもの自主性を尊重するスタッフの方々の指導について大変参考になりました。…(以下略)」(5年男子の父親)と日頃の子どものとの接し方にまで思いを馳せる感想も戴くことが出来ました。

(記事：大熊 輝男)

を推進中です。

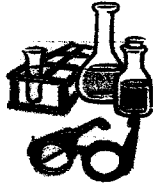
17年度からは指定期間が5年間に延長されました。現在、神奈川県では、慶応義塾高校および県立西湘高校が指定を受けて研究実施中です。

【県立2校の取り組み】：柏陽高校は、初年度(14年度)に指定を受け、理科実験設備の充実、大学あるいは研究機関との連携・協力、日本科学未来館の見学、英語による理科授業などを実施し、科学的・論理的思考力、理数能力の育成を図るなど高等学校の枠を超えた教育を実施してきました。(www.hakuyo-h.pen-kanagawa.ed.jp)。

西湘高校は、17年度に指定を受け、「地球(アース)」をキーワードとして、内外の講師を招聘した「西湘アカデミア」を展開しています。実験設備の充実、大学の研究者を招聘しての高大連携授業の実施、英語による科学授業などを実施しています。

(記事：小林 忠)

第5面~7面には、スタッフのプロフィールを紹介しております。(今号は12名を掲載しました。)



清水洋一さん

(横浜東 Gp)

A1: 1939年/神戸 生まれ

現住所— 磯子区洋光台—科学館の地元です。

A2: 社会還元を少しやりたいと思った。

特に、子供達に科学を教えたい。

A3: 夢のテーマは省エネルギーです。

光、熱、電気、石油、バイオ—色々あって具体化が難しいです。

A4: 少し難しいことにチャレンジして欲しい。やってみれば何とかなります。

A5: 下手な横好きで収拾がつかえません、仕事も趣味のうちかもありません。野鳥の会の会員でもあります。時間がないので、科学塾はセーブしています。

A6: 磯子区から科学者を出したい。(夢)

科学塾で失敗してもいい。家で再チャレンジさせたい。

一人でやった成功体験が大切です。

そのような子供が何人育つか、楽しみです。

科学館に野口宇宙飛行士を呼びたい。

久保 樹 さん

(横浜北 Gp)



A1: 1944年 富山県滑川市

現在 横浜市緑区

A2: 地区センターで アシスタント研修のチラシを見て、少しは役に立てそうと 思ったこと。

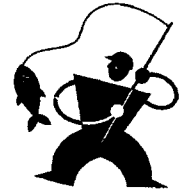
A3: 月に1度か2度のアシスタントとして それほどの労力を費やさない役回り。

A4: 結論の見え難い課題を我慢して考える事。

A5: 絵画、陶芸、庭いじり

渡邊 恭平 さん

(横浜東 Gp)



A1: 栃木県鹿沼市 (園芸用鹿沼土の産地)

A2: 子供科学館の研修生養成案内のチラシをみて

A3: 子供が科学の素晴らしさを感じ感動するチャンスを少しでも作りたい。子供の頃録音石ラジオ (たんけん工房のICラジオ) を完成させた喜びは今でも忘れられない。

A4: 自ら行動し失敗を恐れず何事にも挑む

A5: 釣り、囲碁、園芸、ブリッジ、

森 輝矢 さん

(横浜北 Gp)



A1: 1972年 横浜生まれ

横浜市青葉区美しが丘在住

A2: 横浜に生まれ育ち、何か地域で役に立てることがないかと思っていましたところ、地元の地区センターで指導者養成講座の募集案内を目にして、やってみようと思いました。

A3: 教室のアシスタントをやらせていただきたいと思っています。

A4: 教室に参加された方は、学校の友達やご両親にも感じたことを話して聞かせてあげてほしい。

A5: 油絵や写真が好きです。

ゴルフを覚えようとがんばっています。

大竹盟子さん

(横浜北 Gp)



A1: 1941年

新潟県村上市生まれ

現住所 横浜市旭区白根

A2: 図書館で出会った「たんけん工房」のチラシ君の魅力にひとめぼれいたしました。

A3: 学校では「昔の普通の女の子」でしたので、理科には余り親しんだとはいえ、基礎知識もなく工房でいろいろ勉強させていただき、眼からウロコを落とし続けています。この感動をお子達や、我が孫に伝えるために、活動のお手伝いをしてゆきたいと思っています。

A4: 好奇心旺盛な子供であること。「どうしてだろう？」と自然に考えるような子供、現代は考えなくても「答」や「モノ」があふれすぎていて、それなりに過ごせますが・・・でも、でも・・・?

A5: 山歩き、山でなくても歩くことは大好きです。先ごろ30キロを5時間45分で歩きましたし、ここ10年間で地球半周はしているのでは・・・と思いますが、地球の円周は何キロでしたっけ?

- Q1 生まれた年/場所と、現在お住まいの市区町村は?
- Q2 たんけん工房に参加するようになったいきさつと、動機を書いてください。
- Q3 たんけん工房でやってみたいことはどんなことですか 具体的なテーマでも、夢のイメージでも。
- Q4 趣味や道楽は?
- Q5 子どもたちに ぜひすすめたいことはなんですか?
- Q6 その他付け加えたいことがあれば、ご自由にひとこと。

歳を重ねただけで 人は老いない。夢を失ったときはじめて老いる。(サムエル・ウルマン 新井満 訳より)



広神 勝彦 さん

(横浜東Gp)

A1: 1942年、群馬県で生まれました。榛名山、妙義山、赤城山、浅間山などの山々に囲まれた、大変自然豊かなところです。現在は金沢区に住んでいます。

横浜東 Gp

A2: たまたま、図書館で「おもしろ科学」のインストラクター養成研修のパンフレットを見て応募しました。今まで、クジや応募して当たったことが一度もなかったのに、今度もダメだろうと思っていたところ、なんと当たってしまったのです。

A3: 私の専門は「金属工学」という分野で、鉄鋼会社で働いていました。何か「金属」に関するテーマはないものかと考えているのですが、金属というのは、硬くて、強くて、重くて、簡単に切ることも、曲げることもできないし、工房で扱うのは大変難しい材料です。

A4: 小学生の頃からものを作るのが大好きで、模型飛行機、モーター、中学生の頃は、鉱石ラジオから5球スーパーラジオなどいろいろなものを作りました。今でも、左手にはいろいろな傷跡が残っています。多少の怪我や傷を恐れずに、何でもやってみようという気持ちで、取り組んでもらいたいと思います。

A5: 海のない県に高校卒業までいたので、いまだに海が珍しく、大学時代からヨットに乗っていました。第1級小型船舶操縦士の免許を持っています。アマチュア無線に凝っていた時期もあります。

スタッフの プロフィール

杉山茂久さん

(横浜東 Gp)



A1: 1954年生まれ。東京都足立区で育ち、結婚してから横浜に住んでいます。

A2: たまたま見かけたパンフレットが、この会のアシスタント募集でした。機会があれば理科系のおもしろさを子供たちに伝えたいと思っていました。私が小学生の時にこんな会があったらすばらしかったのに。

A3: まだ、仕事から開放されないのが、当面は補助に徹します。物を分解する楽しさも伝えたらと思います。

A4: 自分で興味があるなら、また参加してほしいけど、親からの強制では、その子が辛そうでかわいそうです。全体のためにもよくないですね。

A5: 旅行が好きです。

A6 たんけん工房にはおもしろいアイテムが豊富ですので、順次、既存のアイテムを知ることが、目下私のたのしみです。先輩の皆さんのアイデアに驚愕します。びっくりするものばかりです。

- Q1 生まれた年/場所と、現在お住まいの市区町村は?
- Q2 たんけん工房に参加するようになったいきさつと、動機を書いてください。
- Q3 たんけん工房でやってみたいことはどんなことですか。具体的なテーマでも、夢のイメージでも。
- Q4 趣味や道楽は?
- Q5 子どもたちに ぜひすすめてみたいことはなんですか?
- Q6 その他付け加えたいことがあれば、ご自由にひとこと。



渡邊 正人さん

(横浜北 Gp)

A1: 昭和21年北海道の山の中奥士別と言う所で生まれました。父の仕事の関係で北海道の中央部、上川支庁管内で育ちました。大学を卒業し石油会社に入り、結婚して10年ぐらゐ函館に住んでいました。子供が小学校に入る頃、横浜に出てきました。仕事は、研究開発と技術畑しか知りませんが横浜の青葉台に 落ち着いて10年程になります。

A2: 定年退職直前に、たんけん工房のスタッフ養成講座の「第2の人生を子供と楽しんでみませんか」の募集記事を見て興味を持ちました。孫が出来たら楽しく遊べるし、私の両親も姉妹たち全員学校の先生なので、子供と一緒に遊ぶことが性に合っているのではと思えたからです。

A3: 兄弟のうちで、私だけが技術屋なので、まずたんけん工房のアイテムを覚え子供と一緒に物作りを楽しむことから始めたいと思います。出来れば、親も子供も工作に熟中できるアイテムを工夫できればと思っています。

A4: 読書や工作など、何事にも熟中すること、うまくいかないときには自分なりに工夫することと努力することを忘れないで欲しい。

A5: 写真。サイクリング、ドライブ、旅行

A6: 若い頃はサッカーをやっており、体力を過信していたが、その付けがまわり体がぼろぼろという状態です。何とか定年まで持ったという状態です。この1年はリハビリが必要と考えていましたが、そんなのんきなことはいってられませんね。

田村みゆきさん [横浜北 Gp]

A1: 1961年/横浜生まれ 現住所: 横浜市青葉区

A2: 広報誌で募集事項を見て応募。科学の楽しさを自分も教えて頂き、なおかつ子供たちに教えることが出来るから応募してみました。



A3: 科学のアイデアなどは全く持っていないので、人の前で教えるというのではなく、子供と一緒にアシスタントとして活動していきたいと思っています。

A4: たくさんの本を読んで、想像力をつけて欲しい。

A5: 最近は忙しくて、自分の趣味など考えている暇はないのですが、ミュージカルやコンサートに行きたいと思っています。

第5面～7面には、スタッフのプロフィールを紹介しております。(今号は12名を掲載しました。)



古村哲夫さん (横浜北 Gp)

A1: 昭和16年に、海外の赴任先から母だけが実家のある信州の高遠町(今は風林火山の由布姫や四郎勝頼縁の地です。父の帰国後は全国各地への転勤に付き合っ、小学4校、中学3校変りました。所帯を持ってからは、洋光台子供科学館の直ぐ南隣の団地に11年間住んだ後は、横浜市港北区の東横線妙蓮寺駅近くに住んでいます。

A2: 退職後は紙ヒコーキを飛ばして楽しんでおります。一昨年と去年は紙飛行機協会が主催する競技会で地方予選を勝ち抜いて全国大会に出て来ました。また、最近はゴム動力のライトプレーンも飛ばしています。両方共ベテランの方に教えて頂いて、その後自分なりに工夫して上手く飛ばせるようになりました。しかし、教わっただけでよいのかとの自答と仕事も航空機に関連していたこともあって「たんけん工房」に応募しました。

A3: そんな訳で、工房では当面ヒコーキのアイテムを主体にさせて頂きたいと思っております。今、藤沢市での模型飛行機教室のお手伝いをしていますが、この後中学校対抗の「ゴム動力飛行体大会」あるとのこと。同じことを横浜の各地区でも出来るようにと思っております。【5】

A4: たんけん工房の科学塾で終わった時の生徒さん達の笑顔が私の原動力であることに変わりはないのですが、生徒さんにとっては上手く行かなかった時もチャンス。最後まで残って頑張る生徒に余裕を持ってお付き合いできるようにと思っております。また、面白い楽しいと感じてくれるにはと、その奥の深さに一歩でも近づこうと種々考えたり覚えたりすることと、物忘れの速さに愕然としながら挑戦中です。

- Q1 生まれた年/場所と、現在お住まいの市区町村は?
- Q2 たんけん工房に参加するようになったいきさつと、動機を書いてください。
- Q3 たんけん工房でやってみたいことはどんなことですか具体的なテーマでも、夢のイメージでも。
- Q4 趣味や道楽は?
- Q5 子どもたちにぜひすすめてみたいことはなんですか?
- Q6 その他付け加えたいことがあれば、ご自由にひとこと。



石井正司さん (横浜北 Gp)

A1: 1940年東京・杉並生まれです。現在は横浜市青葉区です。その間戦争の疎開で山梨県へ。東京に帰ってから都内、横浜を点々とし、現在のところは杉並から数えて12か所目です(その間単身赴任もしました)。

A2: 在職中から理科教育に関連した活動をNPOを作ってやってみたくと昨年準備をしていました。横浜市教育委員会社会教育コーナーが毎年開催している「生涯学習コーナー養成講座」においてシンポジウム「市民活動団体の事例発表」で安田代表のお話を聞き、さらに市民活動グループの見学研修で鶴沼中学で相川主任のレモン電池を見学し、共感し、たんけん工房に参加しました。

A3: 自分の専門が応用化学なので、出来れば化学関係のテーマを子どもたちとやってみたいのですが、会場の制約の問題が先に立ち、化学実験ができるような会場の手当てが先ずは必要です。

A4: 何にでも興味を持ち、間違っても良いから、自分からやってみることを勧めます。たんけん工房の科学塾はこれに適しているので、工房の科学塾は必ず子どもたちの将来に良い影響を与えたいと思います。

A5: 「おたく」といわれるかもしれませんが、鉄道が趣味で、子どものころから、鉄道旅行、鉄道模型の興味があります。先日新潟へ行った折、帰りは新幹線に乗らず、磐越西線で山の中を郡山へ出て鉄道の旅を楽しみました。

A6: ボランティア活動には個人の満足度を高める「生涯学習活動」と、ある程度の社会的な使命を帯びた「市民活動」があると思いますが、たんけん工房の活動はその両者に関係があります。両者のバランスをとりつつ、社会的に使命感を持ち、存在感のある団体としてたんけん工房があり続けられるようにしたいと思っています。特に理科好きの女子児童を増やしたい!

A6: 先月、念願のピンホール式卓上プラネタリウムを完成させました。雨の日でも満天の星空を息子と眺めながら楽しんでます。これからの未来を担う子ども達には、目先だけの小さなことに捕われることなくその先に広がる限りない宇宙のようなもっと大きな世界に心の眼を向け思いっきり羽ばたいて欲しいと思っています。



林 恭子さん

(横浜北 Gp)

A1-2: 1958年熊本市生まれ、横浜市都筑区在住。

子ども達のキラキラした瞳見たさに地区センターのコミュニティスタッフになって彼7年になります。おもしろ科学た工房への参加のきっかけもそのような動機からです。

以前は、広告の企画制作会社を経て月刊専門雑誌の企画編集プロダクションに入社しました。以降出産を機に退くまで雑誌の企画編集の仕事で全国を飛び回る毎日を送りました。出版元は、当時こどもの科学で人気のあった学習研究社。版元のプロデューサーとは意見が合わず毎月のように火花が飛び散らんばかりの編集会議を繰り返していましたが、プロダクションで1日24時間寝食を共にしたその頃の仲間とは今でも20年以上の付き合いを続けています。

“おもしろ科学体験塾”

2007年度7-12月の予定

予定表 変更する場合がありますので、参加申し込みは募集のチラシや、ホームページの案内を見て行ってください。

7/7	※こども科学館	切り出しナイフの使い方 風向計を素材として
7/14	鶴沼中学校	空気の重さ/圧力のふしぎ
7/14	柏陽高校	ゲジゲジ UFO を作ろう
7/21	アートフォーラム	ヘリコプターを作ろう
7/21	永野小学校	ふしぎなヘロンの噴水
7/28	湘南台高校	信号機を作って回路の勉強
7/28	フォーラム	レモンや食塩水で 電池を作る
8/11	新林公園〔藤沢〕	セミの抜けがら調査
9/8	鶴沼中学校	電池で動くホバークラフト
9/8	柏陽高校	ICラジオを作ろう
9/8	岡村小学校	空気の重さ/圧力のふしぎ
9/15	※こども科学館	ブザーを作ろう(2)
9/22	湘南台高校	船を作ろう
9/22	フォーラム	光のふしぎ/ マルチポスコープ
9/29	永野小学校	ヘリコプターを作ろう
10/6	岡村小学校	磁石と電気のみしぎ__モーター
10/13	柏陽高校	イカの観察と解剖
10/13	鶴沼中学校	紙ヒコーキを作ろう
10/20	永野小学校	光のふしぎ /マルチポスコープ
10/20	※こども科学館	ジェットコースターを作ろう
10/20	アートフォーラム	風に向かって走る風力車
10/27	フォーラム	七色の炎のキャンドル作り
10/27	※こども科学館	ライトプレーンを作ろう
10/27	鳴居小学校	シャボン玉でおもしろ科学
11/3	柏陽高校	磁石と電気のみしぎ__モーター
11/10	鶴沼中学校	ジェットコースターを作ろう
11/17	永野小学校	七色の炎のキャンドル作り
11/17	※こども科学館	光のふしぎ /マルチポスコープ
11/17	希望が丘小	万華鏡を作ろう

11/24	フォーラム	電池で動くホバークラフト
11/24	湘南台高校	レモンや食塩水で 電池を作る
12/1	岡村小学校	ゲジゲジ UFO を作ろう
12/8	鶴沼中学校	七色の炎のキャンドル
12/8	柏陽高校	紙のマジックワーク
12/15	永野小学校	すもうロボットを作ろう
12/15	アートフォーラム	紙のマジックワーク
12/22	フォーラム	信号機を作って回路の勉強
12/22	湘南台高校	七色の炎のキャンドル
12/22	※こども科学館	空気の重さ圧力のふしぎ

※ 印の教室の申し込みは〔横浜こども科学館〕へ

* フォーラム=男女共同参画センター横浜(戸塚)

* アートフォーラム=男女共同参画センター横浜北

PR

第2期 体験活動推進スタッフ養成研修

研修登録生 参加者募集 始まります

詳細は チラシ、ホームページ を
ご覧ください

申込期間 8月10日～28日

相模原市立博物館 からの要請で、同館で
講演会および実験ショーを行いました。

◎講演会 : 5月27日〔日〕2時～4時

テーマ : 理科大好きな子どもを育てたい。

～ おもしろ科学体験塾の活動をとおして～

講師 : おもしろ科学たんけん工房 安田光一

展示アシスタント:〔工房スタッフ〕

柴田憲男、滝本昌彦、石井正司

◎実験ショー: 6月3日〔日〕2時 および 3時半の2回

テーマ : ヘロンの噴水 (原理説明実験)

講師 : おもしろ科学たんけん工房

岩瀬宏一、佐藤勝栄、山口 晃

写真: 実験ショーの一場面

